

概 要

1 福井県総人口 760,209 人（令和 3 年 10 月 1 日現在）

本県の総人口は、令和 3 年 10 月 1 日現在 760,209 人となり、令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 9 月 30 日までの 1 年間に 6,654 人減少した。

全国総人口は 12,512 万人（総務省「人口推計」令和 3 年 10 月 1 日現在概算値）となり、本県人口の占める割合は 0.61% である。また、本県の面積は 4,190.52 k²（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」令和 3 年 10 月 1 日現在）であり、人口密度は 1 k² 当たり 181.4 人である。

人口は昭和 46 年以降増加傾向が続いていたが、平成 12 年以降は減少に転じ、令和 3 年は前年と比べ△0.87%と、22 年連続の減少となっている。

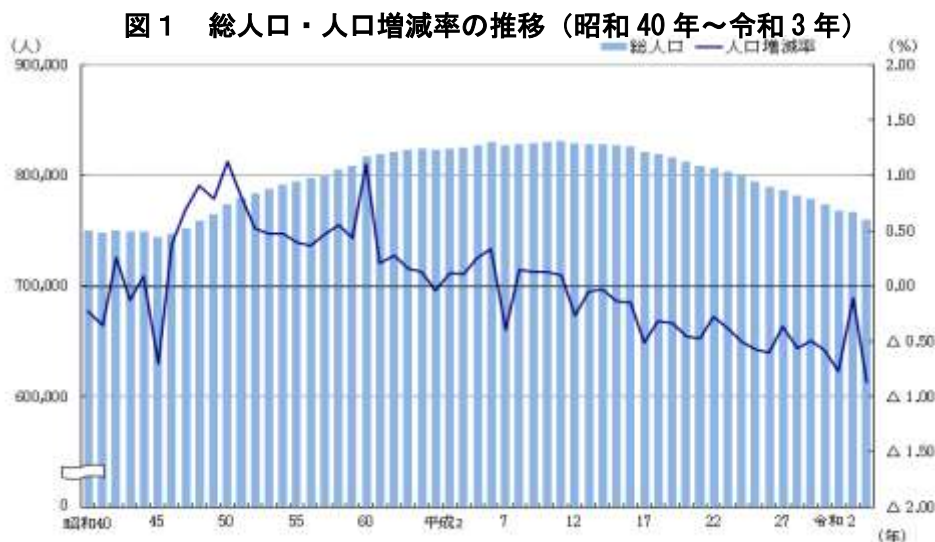


表 1 人口の推移（平成元年～令和 3 年）

（単位：人、%）

区分	総人口	人口増減数	人口増減率	自然増減数	社会増減数	外国人数
平成元年	823,943	1,087	0.13	3,044	△ 1,957	…
2※	823,585	△ 358	△ 0.04	2,430	△ 1,453	5,257
3	824,581	996	0.12	2,355	△ 1,359	5,888
4	825,515	934	0.11	2,028	△ 1,094	6,588
5	827,560	2,045	0.25	1,673	372	7,379
6	830,317	2,757	0.33	2,086	671	7,848
7※	826,996	△ 3,321	△ 0.40	1,732	681	7,593
8	828,249	1,253	0.15	1,733	△ 480	7,886
9	829,344	1,095	0.13	1,346	△ 251	8,548
10	830,429	1,085	0.13	1,419	△ 334	9,091
11	831,222	793	0.10	1,135	△ 342	9,681
12※	828,944	△ 2,278	△ 0.27	1,287	276	9,861
13	828,502	△ 442	△ 0.05	1,070	△ 1,512	9,957
14	828,285	△ 217	△ 0.03	892	△ 1,109	10,389
15	827,110	△ 1,175	△ 0.14	409	△ 1,584	10,740
16	825,880	△ 1,230	△ 0.15	△ 39	△ 1,191	11,252
17※	821,592	△ 4,288	△ 0.52	△ 444	△ 1,267	10,803
18	818,975	△ 2,617	△ 0.32	△ 596	△ 2,021	10,733
19	816,198	△ 2,777	△ 0.34	△ 500	△ 2,277	10,665
20	812,479	△ 3,719	△ 0.46	△ 894	△ 2,825	10,241
21	808,589	△ 3,890	△ 0.48	△ 970	△ 2,920	9,377
22※	806,314	△ 2,275	△ 0.28	△ 1,461	△ 1,910	10,562
23	803,216	△ 3,098	△ 0.38	△ 1,885	△ 1,213	10,311
24	799,127	△ 4,089	△ 0.51	△ 1,990	△ 2,099	9,929
25	794,492	△ 4,635	△ 0.58	△ 2,332	△ 2,303	9,589
26	789,633	△ 4,859	△ 0.61	△ 2,626	△ 2,233	9,467
27※	786,740	△ 2,893	△ 0.37	△ 2,496	△ 1,773	9,971
28	782,232	△ 4,508	△ 0.57	△ 2,913	△ 1,595	9,836
29	778,329	△ 3,903	△ 0.50	△ 3,468	△ 435	10,986
30	773,731	△ 4,598	△ 0.59	△ 3,588	△ 1,010	11,988
令和元年	767,742	△ 5,989	△ 0.77	△ 3,865	△ 2,124	12,436
2※	766,863	△ 879	△ 0.11	△ 3,866	△ 1,197	14,845
3	760,209	△ 6,654	△ 0.87	△ 4,504	△ 2,150	13,673

【※は国勢調査結果】

（注）※年の総人口については、国勢調査人口におきかえており、前年の推計人口に自然増減数および社会増減数を加えた数値とは一致しない。

(1) 自然動態（出生・死亡）

出生数は5,204人となり、前年と比べ307人の減少となった。第2次ベビーブーム期の昭和48年以降減少傾向が続いている。

一方、死亡数は9,708人で、前年に比べ331人の増加となった。この結果、自然増減数は4,504人の減少となり、平成16年以降18年連続の減少となっている。

(2) 社会動態（転入・転出）

社会動態は、昭和25年以降ほぼ一貫して減少の傾向にあり、平成13年以降社会減少が続いている。令和3年の県外転入者は12,649人、県外転出者は14,799人となっており、この結果2,150人の社会減少となった。県外転入で最も多いのは石川県の1,220人であり、次いで愛知県1,193人、大阪府1,029人となっている。また、県外転出で最も多いのは大阪府の1,493人であり、次いで東京都1,438人、愛知県1,384人となっている。

図2 自然増減数・社会増減数（平成元年～令和3年）

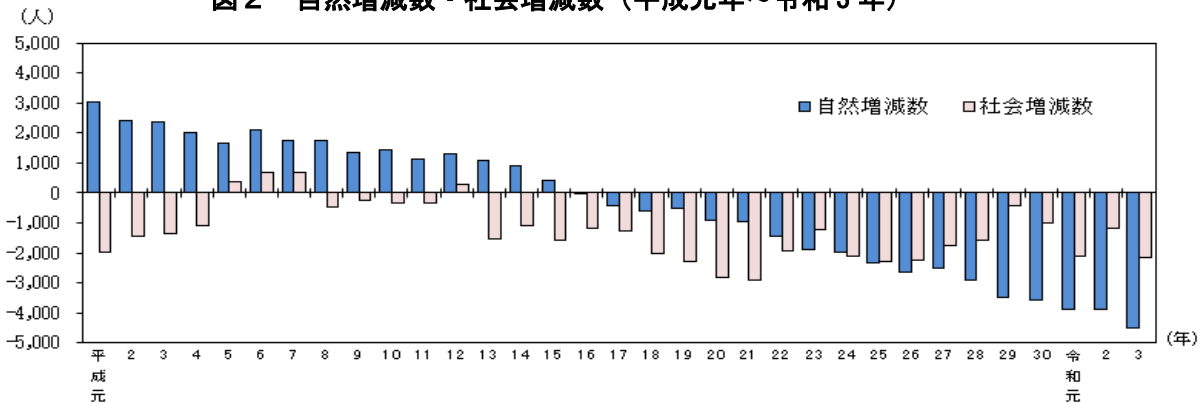
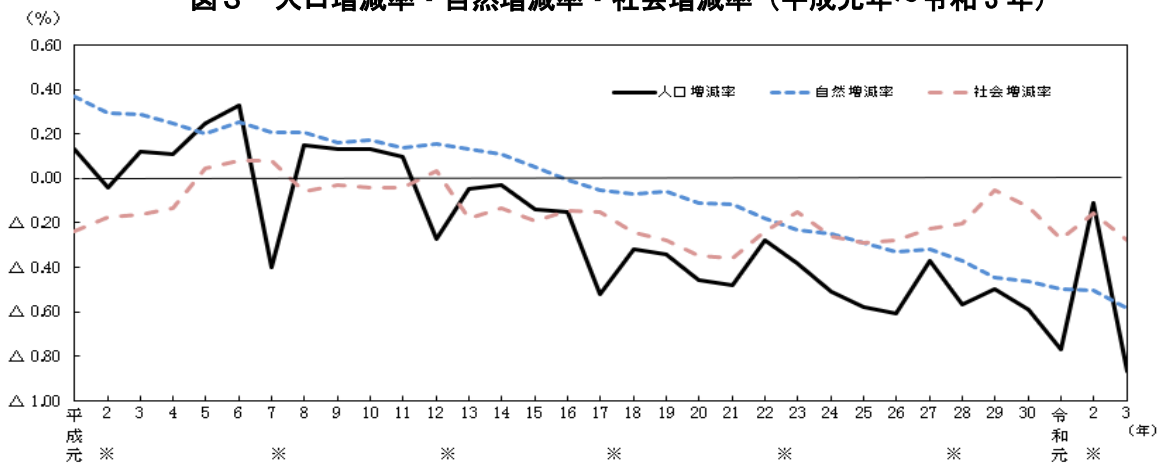


図3 人口増減率・自然増減率・社会増減率（平成元年～令和3年）



（注）国勢調査年の人口増減率は、国勢調査人口をもとに算出しているため、自然増減率と社会増減率の合計とは一致しない。【※】は国勢調査結果

図4 出生数・死亡数・転入者数・転出者数（平成元年～令和3年）

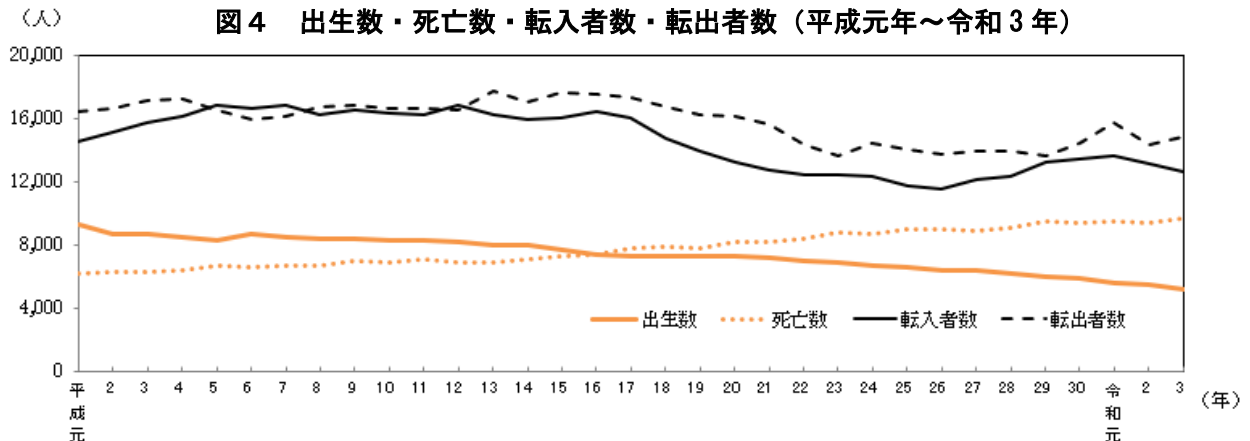


図5 総人口の推移（令和2年10月～令和3年10月）

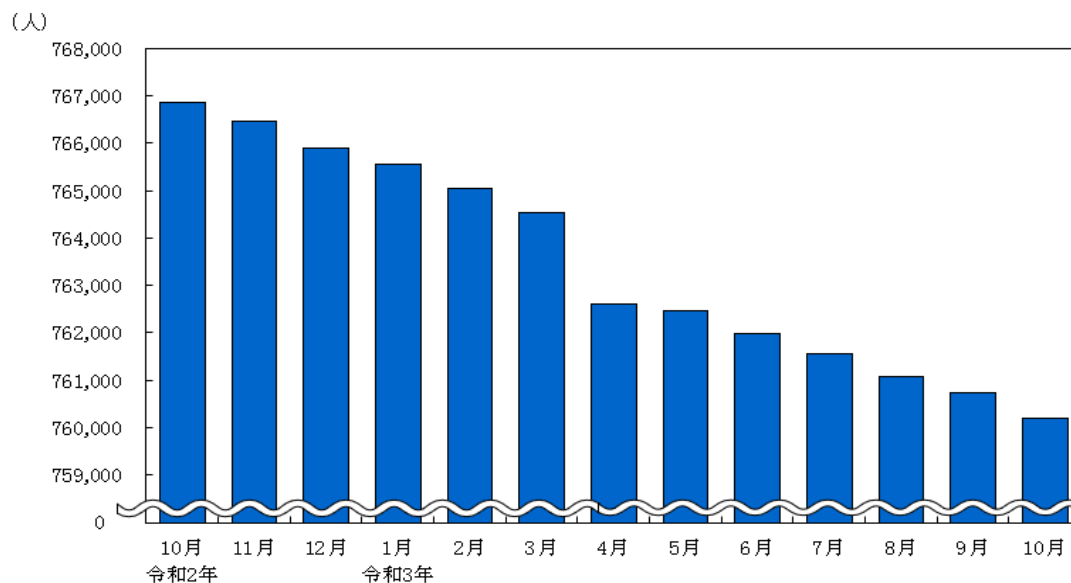


図6 自然増減数・社会増減数（令和2年10月～令和3年9月）

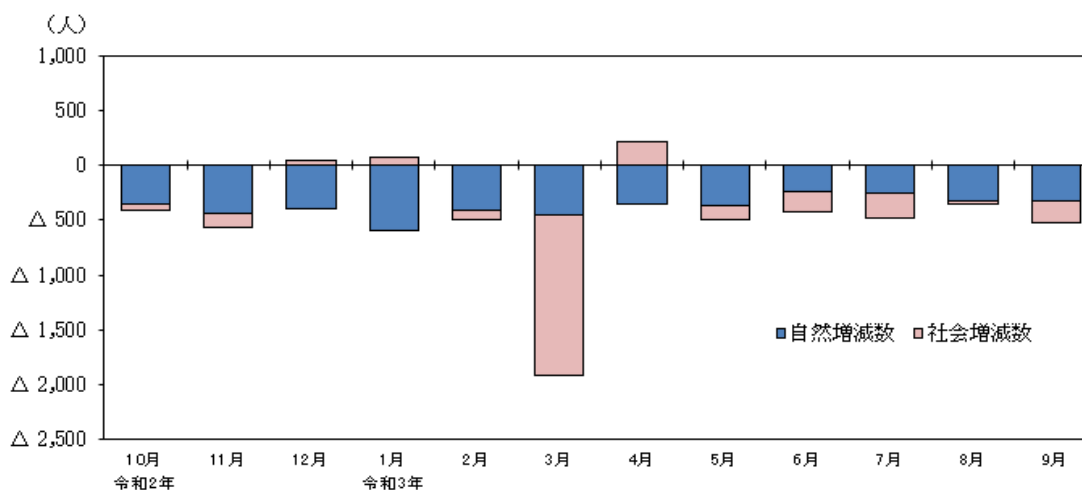


表2 月別人口・移動者数（令和2年10月～令和3年10月）

月	人口	人口増減	自然増減	出生	死亡	社会増減	県外転入	県外転出
令和2年 10月	766,863	△ 407	△ 351	417	768	△ 56	818	874
11月	766,456	△ 562	△ 437	431	868	△ 125	726	851
12月	765,894	△ 350	△ 400	416	816	50	962	912
令和3年 1月	765,544	△ 512	△ 592	390	982	80	1,018	938
2月	765,032	△ 499	△ 407	378	785	△ 92	1,061	1,153
3月	764,533	△ 1,918	△ 445	428	873	△ 1,473	2,439	3,912
4月	762,615	△ 140	△ 356	447	803	216	1,717	1,501
5月	762,475	△ 496	△ 368	453	821	△ 128	759	887
6月	761,979	△ 418	△ 245	467	712	△ 173	750	923
7月	761,561	△ 476	△ 256	447	703	△ 220	745	965
8月	761,085	△ 349	△ 319	455	774	△ 30	837	867
9月	760,736	△ 527	△ 328	475	803	△ 199	817	1,016
10月	760,209	-	-	-	-	-	-	-
総数		△ 6,654	△ 4,504	5,204	9,708	△ 2,150	12,649	14,799

(注)「人口」は各月1日現在、「人口増減」「自然増減」「出生」「死亡」「社会増減」「県外転入」「県外転出」は各月中の数

表3 5歳階級別移動者数（令和2年10月～令和3年9月）

（単位：人）

歳	出生			死亡			県外転入			県外転出		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
0～4	5,204	2,657	2,547	13	4	9	669	354	315	651	321	330
5～9	—	—	—	3	1	2	268	144	124	330	167	163
10～14	—	—	—	4	2	2	187	78	109	170	96	74
15～19	—	—	—	10	6	4	636	336	300	934	516	418
20～24	—	—	—	8	3	5	2,665	1,587	1,078	3,908	2,027	1,881
25～29	—	—	—	15	11	4	2,446	1,388	1,058	2,824	1,587	1,237
30～34	—	—	—	13	10	3	1,684	955	729	1,916	1,067	849
35～39	—	—	—	16	8	8	1,086	633	453	1,169	642	527
40～44	—	—	—	44	28	16	836	540	296	821	497	324
45～49	—	—	—	75	43	32	738	480	258	684	419	265
50～54	—	—	—	91	62	29	510	350	160	473	323	150
55～59	—	—	—	133	90	43	305	206	99	282	194	88
60～64	—	—	—	237	172	65	204	131	73	178	113	65
65～69	—	—	—	391	276	115	144	92	52	124	73	51
70～74	—	—	—	802	551	251	108	52	56	104	41	63
75～79	—	—	—	948	612	336	57	27	30	62	23	39
80～84	—	—	—	1,461	830	631	52	16	36	56	16	40
85～89	—	—	—	2,045	1,021	1,024	35	16	19	70	21	49
90以上	—	—	—	3,399	1,086	2,313	19	4	15	43	11	32
総数	5,204	2,657	2,547	9,708	4,816	4,892	12,649	7,389	5,260	14,799	8,154	6,645

図7-1 5歳階級別県外転入者数

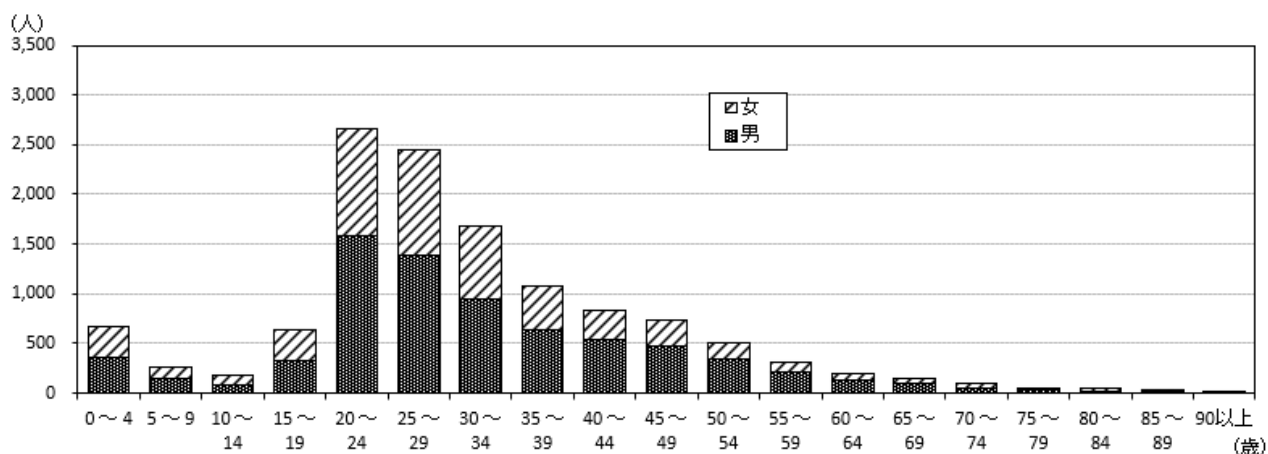


図7-2 5歳階級別県外転出者数

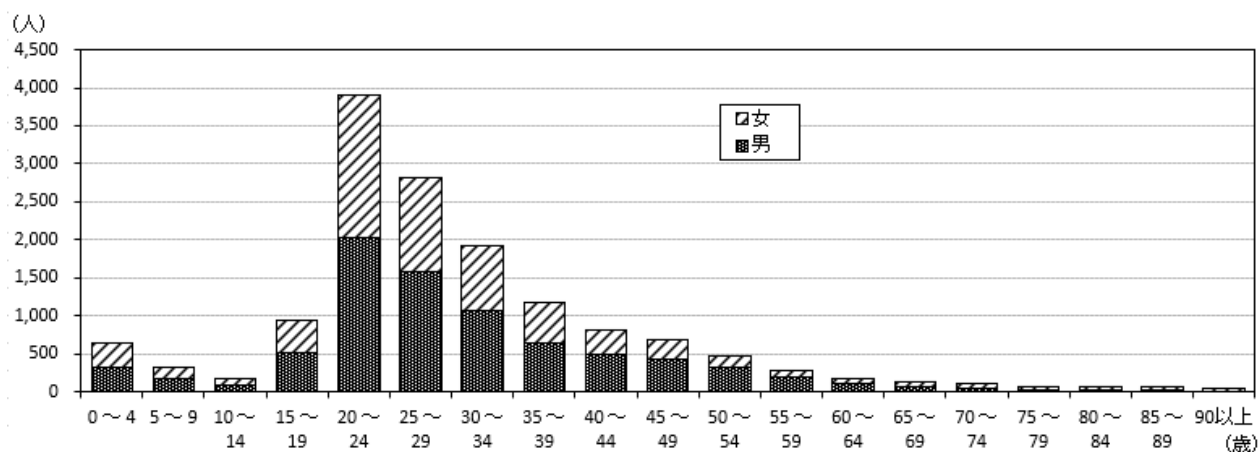
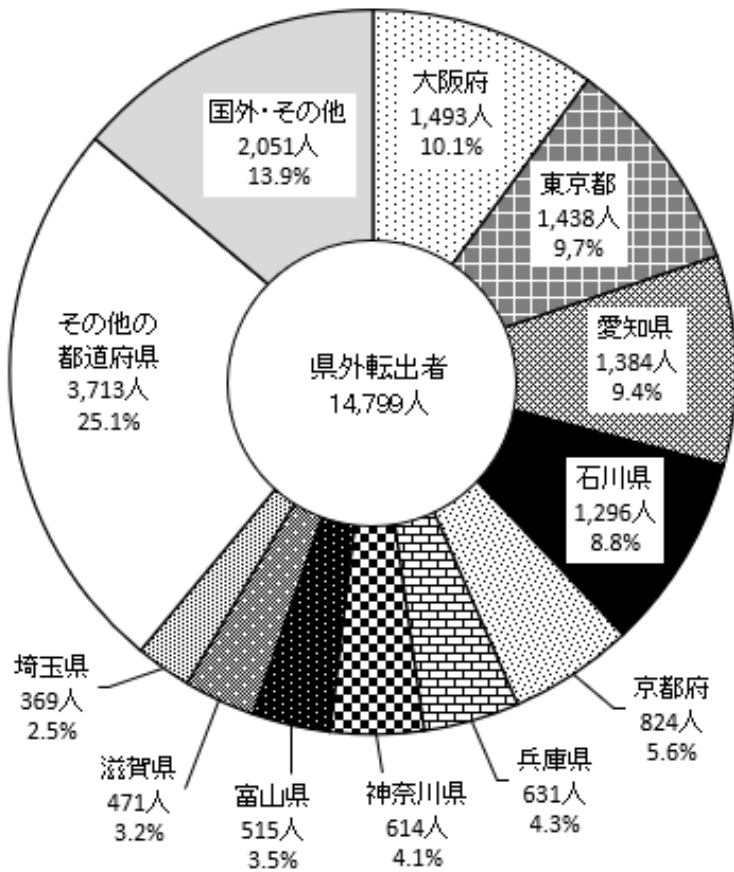
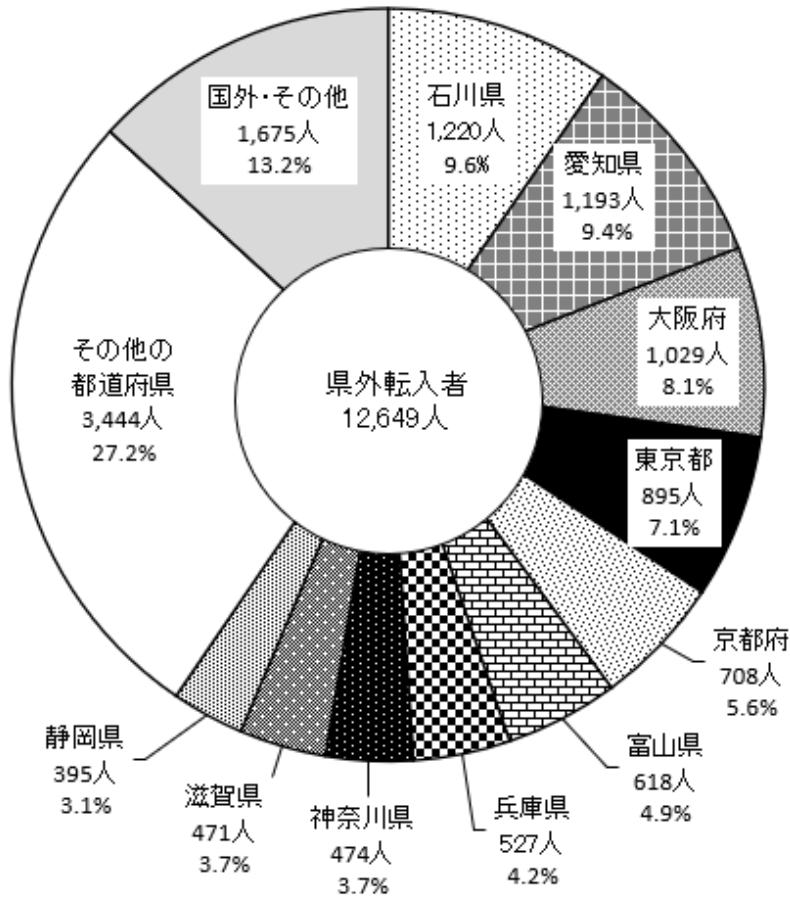


図8 県外転入前・転出先住所地内訳



2 年齢・男女別人口

(1) 年齢（5歳階級）別人口

福井県の人口を年齢5歳階級別にみると、70～74歳が62,920人と最も多く、次いで45～49歳55,232人、50～54歳51,114人の順となっている。

人口ピラミッドをみると、昭和22～24年（現71～73歳）の第1次ベビーブーム期までは若年層ほど人口が多い「富士山型」をしていたが、出生数の減少に伴い「つぼ型」に変化した。その後、昭和46～49年（現46～49歳）の第2次ベビーブーム期を経て出生数が再び減少し、現在は68～73歳と44～50歳を中心とした2つの膨らみを持つ「逆ひょうたん型」となっている。

人口を男女別にみると、男性が371,049人、女性が389,160人であり、女性が男性より18,111人多く、人口性比（女性100人に対する男性の数）は95.3となっている。

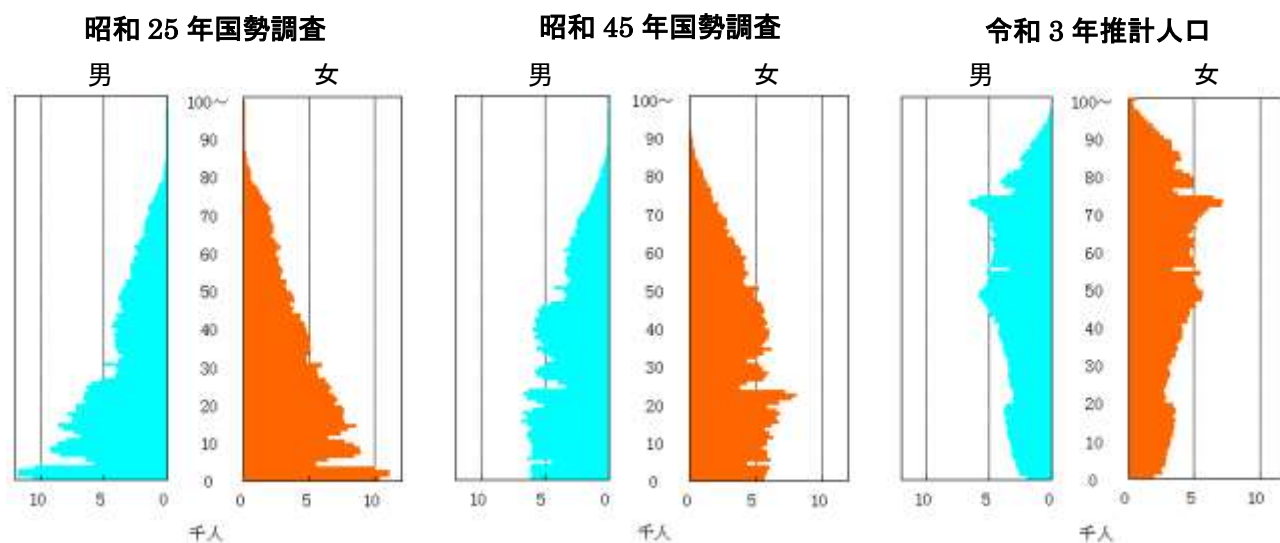
表4 男女別年齢5歳階級別人口

(単位:人、%)

年齢	男女計	男	女	性比	年齢	男女計	男	女	性比
0～4	27,287	13,977	13,310	105.0	50～54	51,114	25,626	25,488	100.5
5～9	31,345	16,166	15,179	106.5	55～59	46,137	22,901	23,236	98.6
10～14	34,901	17,905	16,996	105.3	60～64	47,773	23,460	24,313	96.5
15～19	36,149	18,768	17,381	108.0	65～69	50,857	24,685	26,172	94.3
20～24	29,950	15,981	13,969	114.4	70～74	62,920	30,249	32,671	92.6
25～29	33,084	17,453	15,631	111.7	75～79	39,918	17,986	21,932	82.0
30～34	36,071	18,580	17,491	106.2	80～84	33,482	13,871	19,611	70.7
35～39	40,933	20,874	20,059	104.1	85～89	26,788	9,384	17,404	53.9
40～44	46,299	23,759	22,540	105.4	90～	19,318	4,950	14,368	34.5
45～49	55,232	28,124	27,108	103.7	合計	760,209	371,049	389,160	95.3

(注)年齢不詳 男女計10,651人、男6,350人、女4,301人を計に含む。

図9 福井県の人口ピラミッド（男女別各歳）



(2) 年齢（3区分）別人口

総人口を年齢3区分別にみると、令和3年の年少人口（0～14歳）は93,533人（12.5%）で、前年に比べて0.1ポイント減少、生産年齢人口（15～64歳）は422,742人（56.4%）であり、前年と比べて0.2ポイント減少した。老年人口（65歳以上）は233,283人（31.1%）であり、前年と比べて0.3ポイント増加した。

また、人口の高齢化の程度を示す指数である老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）は249.4となっており、平成7年に老年人口が初めて年少人口を上回って以降、毎年上昇を続けている。

図10 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和3年）

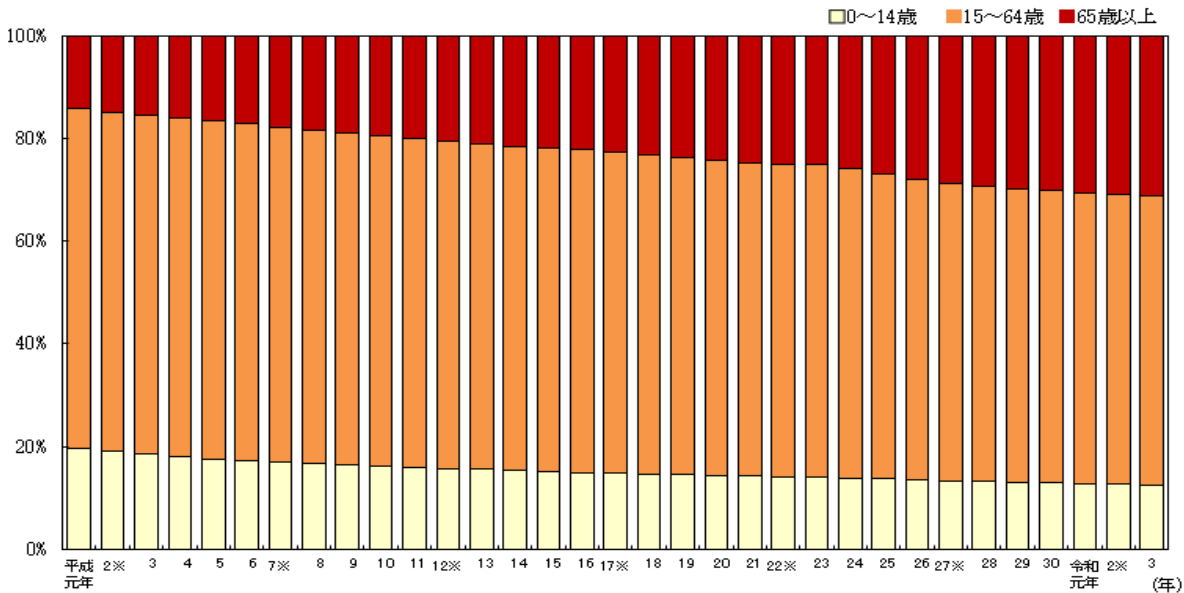


表5 年齢（3区分）別人口の推移（平成元年～令和3年）

区分	年齢構成別人口			構成割合			老年化指数
	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上	
平成元年	160,475	546,131	117,337	19.5	66.3	14.2	73.1
2※	155,998	545,297	121,940	18.9	66.2	14.8	78.2
3	152,112	545,414	127,055	18.4	66.1	15.4	83.5
4	148,626	545,024	131,865	18.0	66.0	16.0	88.7
5	145,617	545,144	136,799	17.6	65.9	16.5	93.9
6	143,479	544,816	142,022	17.3	65.6	17.1	99.0
7※	140,593	539,592	146,728	17.0	65.3	17.7	104.4
8	138,624	537,615	151,927	16.7	64.9	18.3	109.6
9	136,966	535,779	156,516	16.5	64.6	18.9	114.3
10	134,951	534,162	161,233	16.3	64.3	19.4	119.5
11	132,658	533,185	165,296	16.0	64.2	19.9	124.6
12※	130,143	529,017	169,489	15.7	63.8	20.5	130.2
13	128,279	525,455	174,473	15.5	63.4	21.1	136.0
14	126,329	523,198	178,463	15.3	63.2	21.6	141.3
15	124,528	520,980	181,307	15.1	63.0	21.9	145.6
16	122,588	520,112	182,885	14.8	63.0	22.2	149.2
17※	120,745	513,858	185,501	14.7	62.7	22.6	153.6
18	119,297	509,209	188,981	14.6	62.3	23.1	158.4
19	118,031	503,513	193,166	14.5	61.8	23.7	163.7
20	116,860	497,371	196,760	14.4	61.3	24.3	168.4
21	115,447	491,666	199,988	14.3	60.9	24.8	173.2
22※	112,192	485,409	200,942	14.0	60.8	25.2	179.1
23	110,816	484,729	199,900	13.9	60.9	25.1	180.4
24	109,166	476,832	205,358	13.8	60.3	26.0	188.1
25	107,644	467,096	211,981	13.7	59.4	26.9	196.9
26	105,932	457,563	218,367	13.5	58.5	27.9	206.1
27※	102,986	451,409	222,408	13.3	58.1	28.6	216.0
28	101,322	444,857	226,116	13.1	57.6	29.3	223.2
29	99,805	439,896	228,691	13.0	57.2	29.8	229.1
30	98,058	435,182	230,554	12.8	57.0	30.2	235.1
令和元年	96,407	429,898	231,500	12.7	56.7	30.5	240.1
2※	95,544	427,984	232,684	12.6	56.6	30.8	243.5
3	93,533	422,742	233,283	12.5	56.4	31.1	249.4

(注1) 平成元年から平成6年は、年齢不詳を年齢構成別人口に含めている。

(注2) 平成7年以降の構成割合は、年齢不詳を除いて算出している。

【※は国勢調査結果】

3 世帯数 293,092 世帯（令和3年10月1日現在）

福井県の総世帯数は293,092世帯であり、前年と比べ1,430世帯(0.49%)増加した。また、1世帯当たり人員は2.59人であり、前年と比べ0.04人の減少となり、核家族や単身世帯の増加に伴い毎年減少を続けている。

図11 世帯数の推移（平成元年～令和3年）

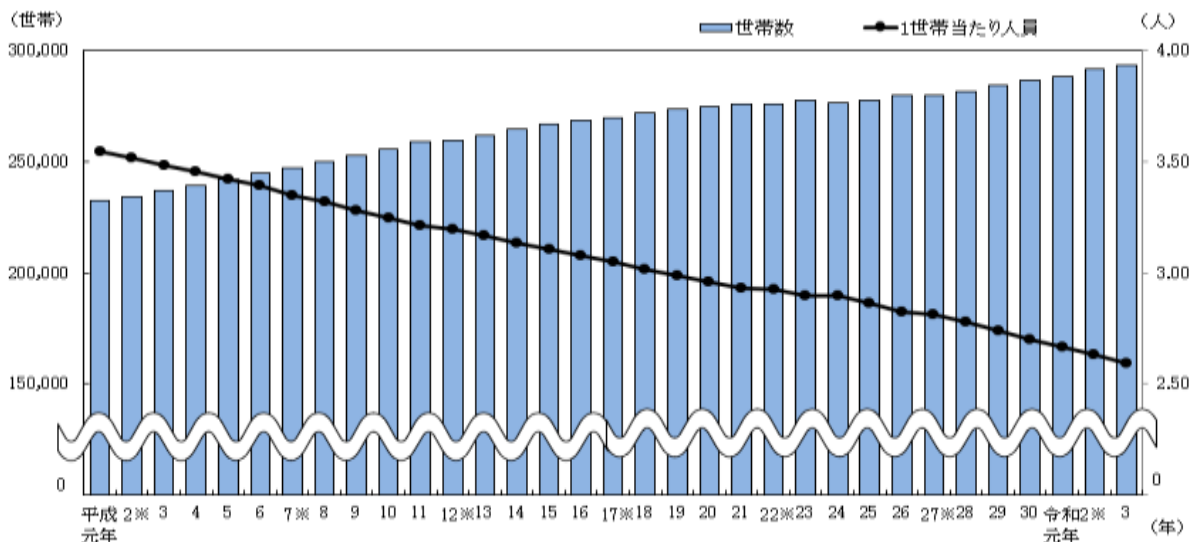


表6 世帯数の推移（平成元年～令和3年）

(単位: 世帯、人、%)

区分	世帯数	増減数	増減率	1世帯当たり人員
平成元年	232,532	1,867	0.81	3.54
2※	234,192	1,660	0.71	3.52
3	236,662	2,470	1.05	3.48
4	238,960	2,298	0.97	3.45
5	241,865	2,905	1.22	3.42
6	244,821	2,956	1.22	3.39
7※	246,911	2,090	0.85	3.35
8	249,750	2,839	1.15	3.32
9	252,714	2,964	1.19	3.28
10	255,684	2,970	1.18	3.25
11	259,040	3,356	1.31	3.21
12※	259,612	572	0.22	3.19
13	261,845	2,233	0.86	3.16
14	264,393	2,548	0.97	3.13
15	266,603	2,210	0.84	3.10
16	268,671	2,068	0.78	3.07
17※	269,577	906	0.34	3.05
18	271,810	2,233	0.83	3.01
19	273,552	1,742	0.64	2.98
20	274,817	1,265	0.46	2.96
21	275,759	942	0.34	2.93
22※	275,599	△ 160	△ 0.06	2.93
23	277,218	1,619	0.59	2.90
24	276,183	△ 1,035	△ 0.37	2.89
25	277,510	1,327	0.48	2.86
26	279,774	2,264	0.82	2.82
27※	279,687	△ 87	△ 0.03	2.81
28	281,612	1,925	0.69	2.78
29	284,100	2,488	0.88	2.74
30	286,392	2,292	0.81	2.70
令和元年	288,356	1,964	0.69	2.66
2※	291,662	3,306	1.15	2.63
3	293,092	1,430	0.49	2.59

【※は国勢調査結果】

4 市町人口

人口が最も多いのは福井市の 260,507 人であり、県全体の 34.3%を占める。次いで坂井市 87,698 人、越前市 80,288 人となっている。

(1) 人口増減

人口が増加したのは鯖江市のみであり、他の 16 市町は昨年と比べ人口が減少した。

人口増減率は、鯖江市が 0.12%と最も高く、次いでおおい町 Δ 0.33%、越前市 Δ 0.40%となっている。最も減少率が高いのは池田町の Δ 3.10%であり、次いで若狭町 Δ 2.06%、大野市 Δ 2.02%となっている。

広域圏単位でみると、すべての広域圏で減少しており、最も減少率が高いのは奥越の Δ 1.93%であり、次いで嶺南 Δ 1.20%となっている

表7 地区・市町別人口および増減率

(単位:人、%)

	人口	増減数	増減率
県計	760,209	Δ 6,654	Δ 0.87
福井地区	279,328	Δ 1,965	Δ 0.70
福井市	260,507	Δ 1,821	Δ 0.69
永平寺町	18,821	Δ 144	Δ 0.76
坂井地区	114,840	Δ 1,165	Δ 1.00
あわら市	27,142	Δ 382	Δ 1.39
坂井市	87,698	Δ 783	Δ 0.88
奥越地区	52,404	Δ 1,032	Δ 1.93
大野市	30,654	Δ 632	Δ 2.02
勝山市	21,750	Δ 400	Δ 1.81
丹南地区	180,579	Δ 877	Δ 0.48
鯖江市	68,387	85	0.12
越前市	80,288	Δ 323	Δ 0.40
池田町	2,348	Δ 75	Δ 3.10
南越前町	9,801	Δ 201	Δ 2.01
越前町	19,755	Δ 363	Δ 1.80
嶺南地区	133,058	Δ 1,615	Δ 1.20
敦賀市	63,634	Δ 630	Δ 0.98
小浜市	28,653	Δ 338	Δ 1.17
美浜町	8,998	Δ 181	Δ 1.97
高浜町	10,175	Δ 151	Δ 1.46
おおい町	7,884	Δ 26	Δ 0.33
若狭町	13,714	Δ 289	Δ 2.06

図12 市町別人口増減率（その1）

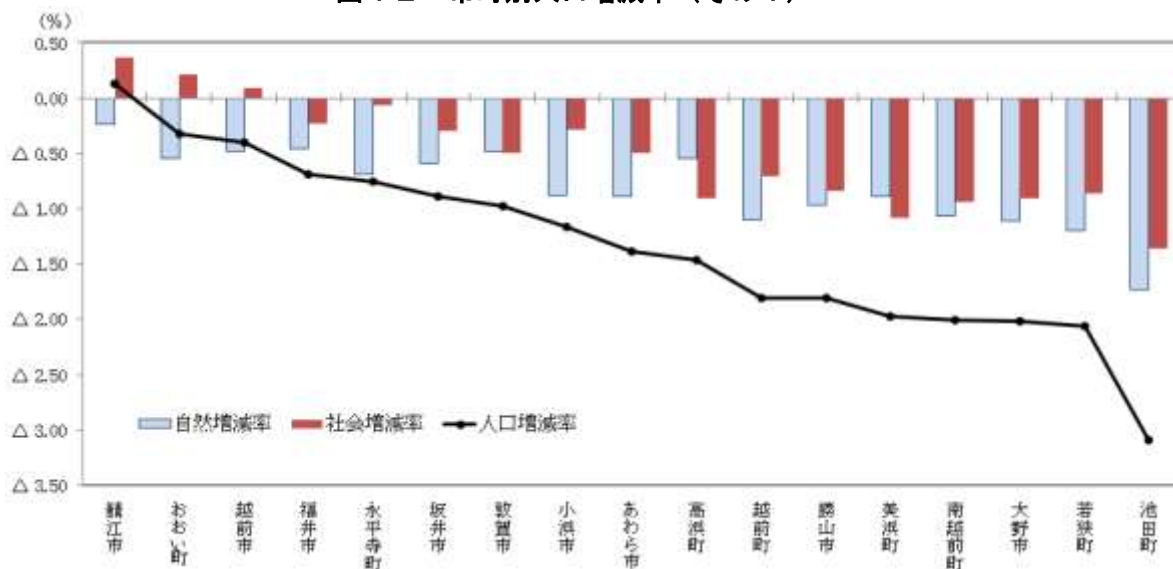
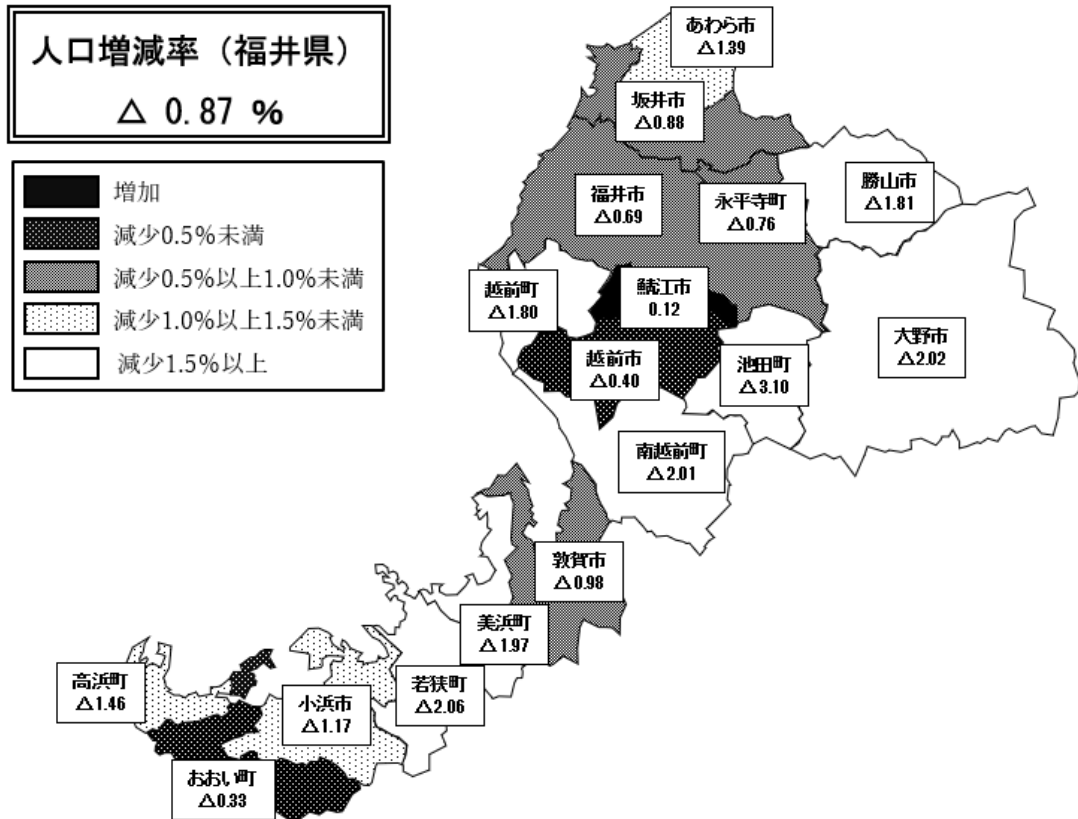


図 1 3 市町別人口増減率（その 2）



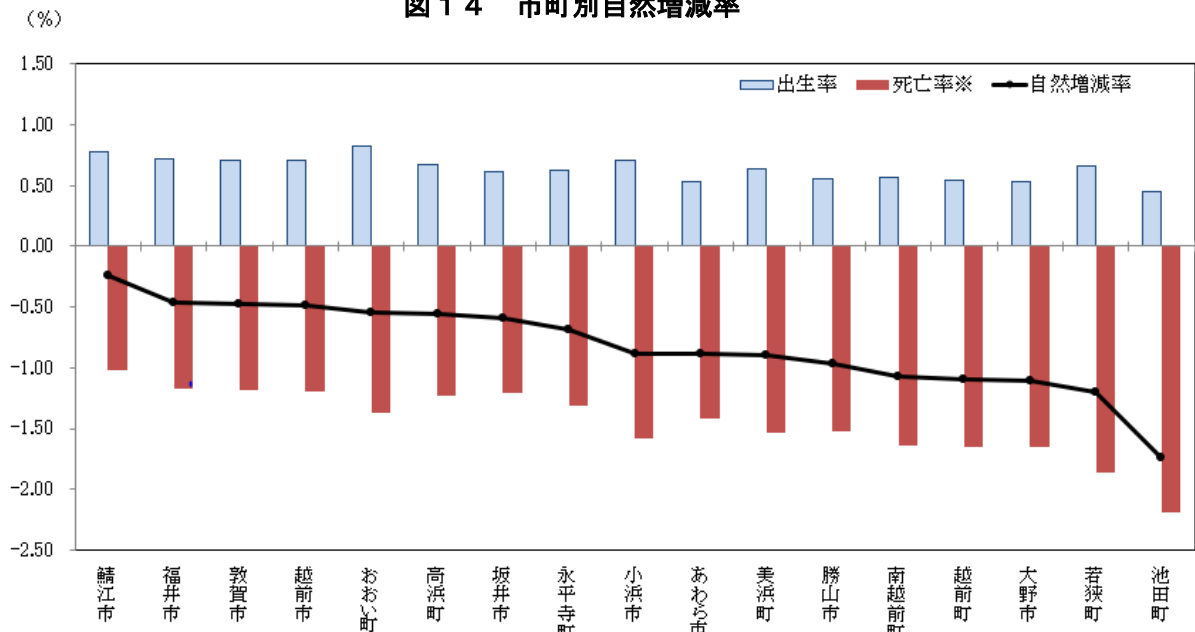
(2) 自然動態

自然増減率はすべての市町でマイナスとなり、最も減少率が低いのは鯖江市の $\Delta 0.24\%$ であり、次いで福井市 $\Delta 0.46\%$ 、敦賀市 $\Delta 0.48\%$ となっている。最も減少率が高いのは池田町の $\Delta 1.73\%$ であり、次いで若狭町 $\Delta 1.20\%$ 、大野市 $\Delta 1.11\%$ となっている。

出生率は、おおい町が 0.82% と最も高く、次いで鯖江市が 0.78% 、福井市が 0.72% となっている。最も低いのは池田町の 0.45% であり、次いであわら市 0.53% 、大野市 0.54% となっている。

死亡率は、池田町が 2.19% と最も高く、次いで若狭町 1.86% 、大野市 1.65% となっている。最も低いのは鯖江市の 1.02% であり、次いで福井市 1.18% 、敦賀市 1.19% となっている。

図 1 4 市町別自然増減率



※死亡率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

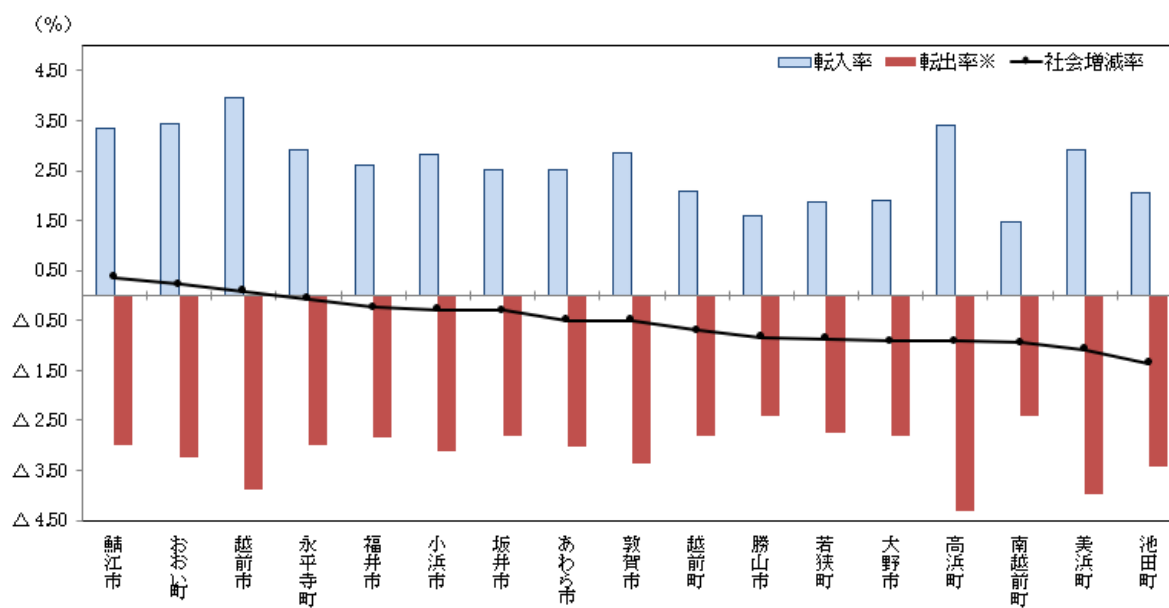
(3) 社会動態

社会増減率がプラス（＝転入超過）になったのは3市町であり、最も高いのは鯖江市が0.36%、次いでおおい町が0.21%、越前市0.08%となった。他の14市町はマイナス（＝転出超過）になっており、最も低いのは池田町の△1.36%であり、次いで美浜町△1.08%、南越前町△0.94%となった。

転入率は、越前市が3.97%と最も高く、次いでおおい町が3.44%、高浜町3.41%となっている。最も低いのは南越前町の1.46%であり、次いで勝山市1.58%、若狭町1.87%となっている。

転出率は、高浜町が4.32%と最も高く、次いで美浜町3.99%、越前市3.89%となっている。最も低いのは、南越前町の2.40%であり、次いで勝山市2.42%、若狭町2.74%となっている。

図15 市町別社会増減率

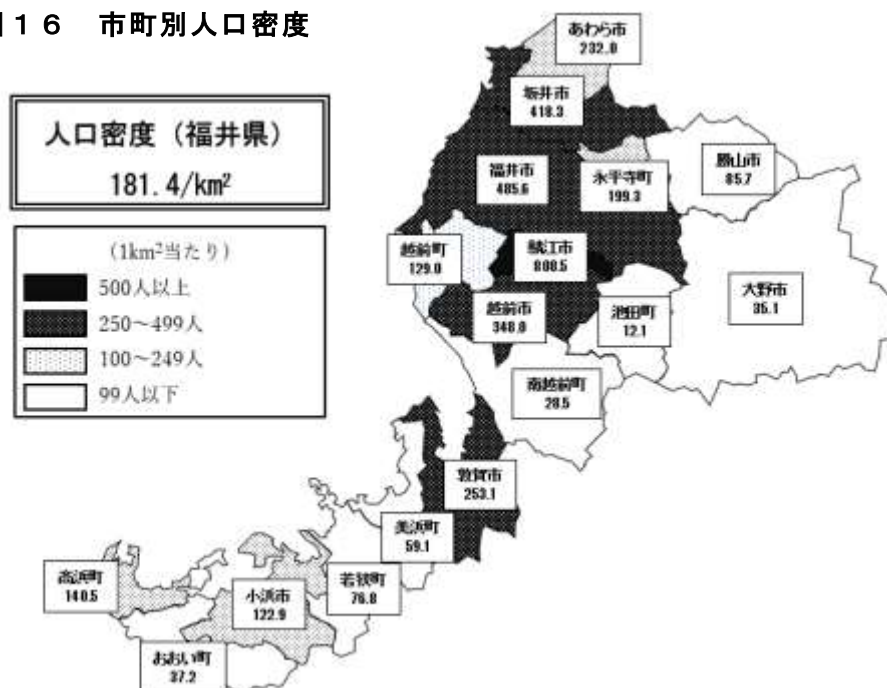


※転出率は、人口減少の要因としてマイナスで表記した。

(4) 人口密度

面積1km²当たりの人口密度は、鯖江市が808.5人であり最も高く、次いで福井市485.6人、坂井市418.3人となっている。最も低いのは池田町の12.1人であり、次いで南越前町28.5人、大野市35.1人となっている。

図16 市町別人口密度



(5) 年齢（3区分）別人口

年少人口（0～14歳）の割合が最も高いのは鯖江市の13.9%であり、次いでおおい町13.7%、坂井市13.0%となっている。最も低いのは池田町の8.0%であり、次いで大野市、美浜町が10.6%となっている。

生産年齢人口（15～64歳）の割合が最も高いのは永平寺町の58.3%であり、次いで鯖江市58.2%、越前市、坂井市が57.6%となっている。最も低いのは池田町の47.5%であり、次いで南越前町50.1%、若狭町50.7%となっている。

老年人口（65歳以上）の割合が最も高いのは池田町の44.5%であり、次いで南越前町38.5%、大野市38.3%となっている。最も低いのは鯖江市の27.8%であり、次いで坂井市29.5%、福江市29.8%となっている。

老年化指数（老年人口の年少人口に対する比率）が最も高いのは池田町の555.9であり、次いで大野市362.6、美浜町348.1となっている。最も低いのは鯖江市の199.9であり、次いで坂井市227.4、福江市234.2となっている。

図17 市町別年齢（3区分）別人口の割合

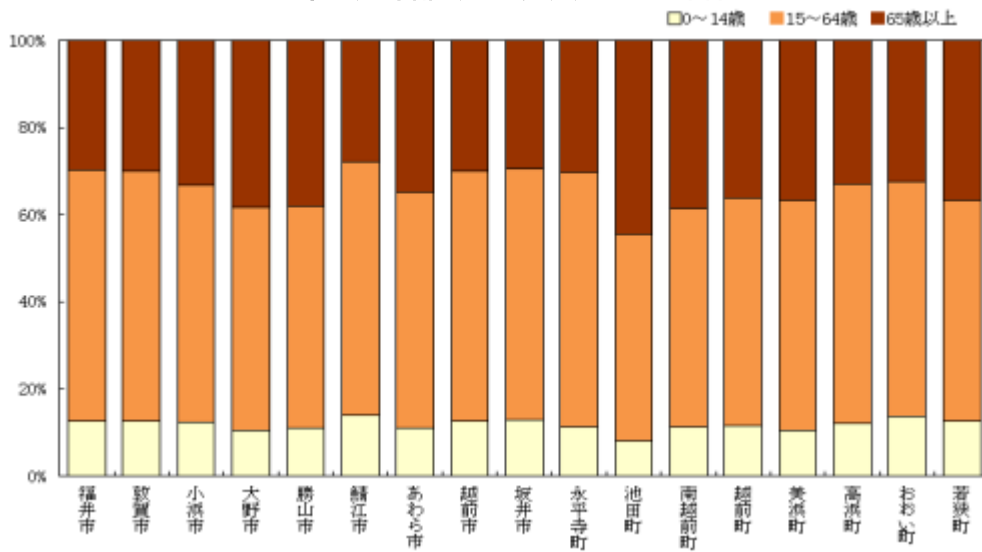
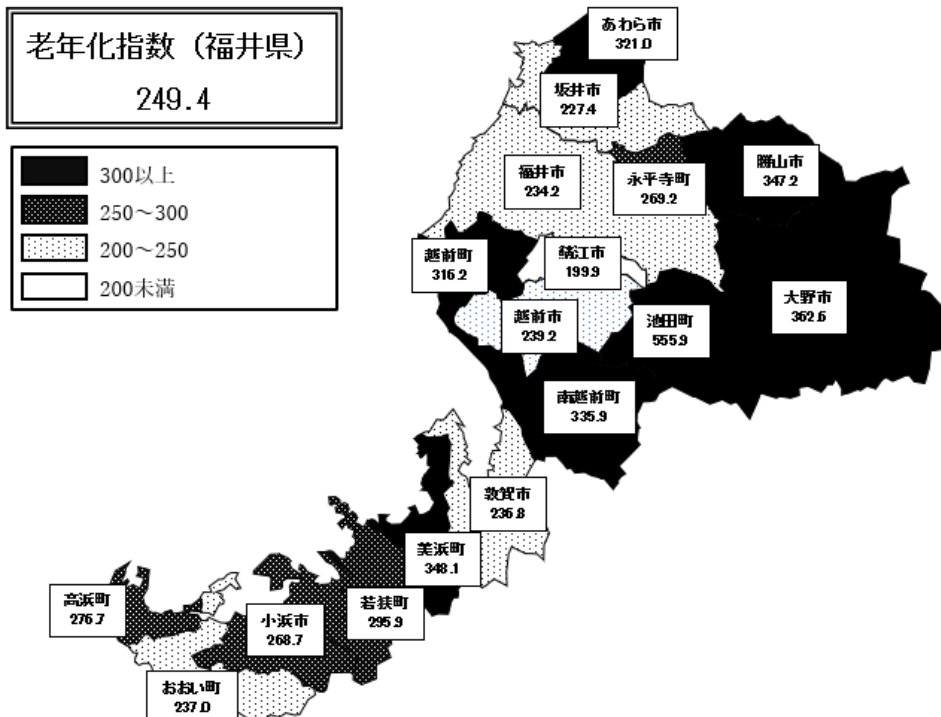


図18 市町別老年化指数



(6) 世帯数

世帯数が最も多いのは福井市の105,147世帯であり、県全体の35.9%を占めている。次いで坂井市31,305世帯、越前市29,975世帯となっている。

増減率は、鯖江市が1.59%と最も高く、次いで越前市1.15%、坂井市0.77%となっている。最も低いのは、池田町の△1.16%であり、次いで勝山市△1.10%、若狭町△0.81%となっている。

1世帯当たり人員が最も多いのは、越前町の3.03人であり、次いで南越前町3.01人、勝山市2.92人となっている。最も少ないのは、高浜町、敦賀市の2.28人であり、次いで小浜市2.38人となっている。

表8 市町別世帯数

(単位:世帯、%)

	世帯数	増減数	増減率
県計	293,092	1,430	0.49
福井市	105,147	677	0.65
敦賀市	27,887	38	0.14
小浜市	12,060	△22	△0.18
大野市	10,803	△65	△0.60
勝山市	7,441	△83	△1.10
鯖江市	24,295	380	1.59
あわら市	9,946	13	0.13
越前市	29,975	341	1.15
坂井市	31,305	238	0.77
永平寺町	7,340	55	0.75
池田町	937	△11	△1.16
南越前町	3,261	△5	△0.15
越前町	6,528	△53	△0.81
美浜町	3,720	△25	△0.67
高浜町	4,472	△28	△0.62
おおい町	3,184	19	0.60
若狭町	4,791	△39	△0.81

図19 市町別1世帯当たり人員

